

令和元年度 学校自己評価システムシート 城西大学附属川越高等学校

目指す学校像	「進学実績の向上」を目指し、質の高い教科指導と学習意欲に応える授業を組織的に展開する。また、校是「報恩感謝」の具現化に向けた有意義な体験が展開されるよう、部活動・学校行事・社会奉仕活動等の環境整備を図り、次世代のリーダーに必要な人間性・人格の陶冶を目指す。	達 成 度	A	ほぼ達成（8割以上）	学校関係者評価委員 内訳 学識経験者 1名 学校関係者 9名 事務局（教職員） 4名 計 14名
重点目標	1. 学力向上と特別活動等を高い次元で両立する生徒の育成のための指導の充実 2. 人間性の陶冶を目指す指導の充実 3. 保護者や地域に開かれた学校づくり		B	概ね達成（6割以上）	
		C	変化の兆し（4割以上）		
		D	不十分（4割未満）		

学 校 自 己 評 価								学 校 関 係 者 評 価	
年 度 目 標				年 度 評 価 (令和2年3月14日現在)				アンケート形式で実施 (令和2年6月16日)	
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策	学校関係者からの意見・要望・評価等	
1	①教科での研究や教師各々の努力・工夫で授業改善を行っている。それを更に向上させる為、組織的な取り組みを継続的に推進する必要がある。 ②効率的な時間の管理を指導、支援し、集中力の向上や自学自習の習慣などの一層の定着を目指す。 ③家庭学習に取り組む余裕のない生徒が若干いる。	授業改善と自立した学習者を育成する取り組みをする。	①定期的な教科主任による会議を通じ情報交換を行い、それぞれの教科の授業に反映できるようにしている。 ②定期試験の結果や模試の成績等を分析し、個人面談を通して個々の生徒への具体的な働きかけを早い時期から行い、高い目標を持たせ、目標実現のために、意欲的に学習する態度を育成する。 ③内外の試験等の見直しに取り組み、意欲的に家庭学習を進めさせる。	①研究授業の反省や授業参観の感想にとどまらず、指導法の改善に生かせる話し合いが行われているか検証する。 ②大学の魅力や長所を理解し、自分の進路実現に向けて、意欲的に学習に取り組んでいるか検証する。 ③模試等を効果的に活用し、家庭学習の時間が十分確保されているか検証する。	①生徒アンケートの結果、授業に対する満足度は高かった。研究授業を実施し、教員の指導技術を高めた。 ②スタディサポート・校外模試等を実施し、その分析会を通じ生徒の学力を把握し、指導に反映させた。 ③家庭学習の時間が確保できない生徒もおり、指導する必要がある。	B	①各教科でアンケート結果を分析し、充実した授業を目指し、組織的に計画的に授業改善に取り組めるよう教員研修の充実を図る。 ②進路実現に向け手厚い進路指導体制を構築し、組織的に継続・発展させる。また、大学に関する積極的な情報収集を促す。 ③目標を明確にさせ、その実現に向け、継続した指導を通し、自立した学習者の育成をめざす。	①授業及び学校生活に対する満足度が高く（約9割）評価できる。一方、少数ではあるが満足していない生徒にも目を向け、今後さらに満足度が上がるように指導にあたってほしい。 ②勉強との両立に悩みつつも、部活動に励んでいる姿がうかがえる。今後も手厚い指導を続けてほしい。 ③家庭学習の時間数とともに、自分に足りない部分を見定めて補うことができる理解力を養えるよう今後も指導を続けてほしい。	
2	①生徒アンケートを通じて校則の理解等、具体的に判断できるようにした。結果としてより実際に近い生徒の意識がわかるようになった。 ②事象への対応には、各所の連絡を密にし、連携した対応ができるように心掛ける。 ③部・同好会への加入率は比較的高いが、文化部員の加入率がやや低い。運動部の成績の更なる向上を期待したい。	生徒指導の充実を図る。	①通学時の指導、SHR・LHRでの担任の話、授業等の機会を利用し、自己の責任や規則遵守の意義を理解させ、自分を律することの大切さを認識させる働きかけを行う。また、定期的な容儀検査と事後指導を実施する。 ②人権や心の教育への理解を深め、より有益な情報を収集し、実り多い研修会、講座、講演会等を企画する。 ③部・同好会において、練習内容を工夫し、短時間で効果のある集中した活動を行う。	①社会性が育まれ、生徒一人ひとりが自主的な行動ができ、また、基本的な生活習慣を確立させ、校則を遵守しているか検証する。 ②人権・心の教育に関する理解促進と人権講話や生き方講演会などを計画的に行っているか検証する。 ③部・同好会への加入率を調査し、各クラブの活動内容・成績・実績等を検証する。	①大きな問題なく経過している。生徒指導部を中心に全教員で指導している為、気持ち良い挨拶をする生徒が増えている。 ②全校集会や学年集会での講話において心の教育に関する理解を深めると共に、進路についても更なる理解が深まった。 ③部・同好会への加入率は約90%である。顧問は熱心に指導している。一層の好成績を期待したい。	A	①登校時の指導・HR・授業等の機会を利用し、校是である「報恩感謝」を具現化させる働きかけを行う。 ②新型コロナウイルス感染症により日常のあり方、自分のあり方を考える機会が増加する。命と心の教育、進路指導を効果的に行う。 ③時間を効果的・効率的に使うことができる生徒の育成を目指す。工夫した練習内容で、なお一層の好成績を期待したい。	①教職員が熱心に生徒と向き合っ指導している姿勢が高く評価できる。アンケートの結果を踏まえつつ、引き続き家庭や地域との連携を深め、人間形成の視点に立った指導にあたってほしい。 ②多感な時期。人間関係の悩みもあるようだが、自身で乗り越え解決できる子に育ててほしい。保護者としても協力していきたい。 ③部活動を通じて、礼儀や作法といった精神面の部分も良好に醸成できている。	
3	①本校の教育活動を校外に発信する為に、ホームページの内容を充実させるように努力している。 ②適宜、公開授業・授業参観を行うことによって、保護者に向け授業等を公開している。	開かれた学校づくりを一層推進する。	①逐次ホームページの更新を行い、学校行事・学校生活（教育課程・部活動・進学指導・進学結果等）の様子を校外へ発信する。 ②年間行事予定の中で、計画的に授業や校内の様子を公開し、保護者等から信頼される学校を目指す。	①逐次ホームページの更新を行い、本校の教育活動を公開しているか検証する。 ②公開授業等に対して、多くの参加があるか検証する。	①逐次ホームページを更新し、本校の教育活動を公開している。 ②公開授業の保護者参加率は平均27.3%であった。昨年度25.1%、一昨年度15.6%	B	①開かれた学校づくりを推進し、引き続き、信頼に応える学校づくりに取り組む。 「城西川越ネット」のさらなる活用を検討する。 ②公開授業参加者のアンケート等を参考にしながらより良い教育環境の充実に努める。	①ネットを使用してのアピールが少ないように感じる。熱心で面倒見の良い教員が多い点をもっと積極的にアピールできると良い。 ②公開授業の他、文化祭では保護者のみならず地域の方々も来校して参加していて、充分開かれていると感じる。 【第三者委員会(学識経験者)による評価】 ①単なる情報伝達だけではなく、ホームルームでの教員の話が重要である。 ②落ち着いた学校生活が送れている。	